

### 3 各学校における体罰・セクハラ防止への取り組み状況

※ 意見を分類整理し、割合は全校数（171校）で除したもの（複数回答）

分類	意見	昨年度取組んだ内容			今後さらに必要な対策		
		回答数	割合	項目順位 (上位10項目)	回答数	割合	項目順位 (上位10項目)
周知	職員会議や打合せ等において資料提示し、体罰・セクハラ禁止の周知徹底	163	95%	1	112	65%	1
	年度初めにおける人権尊重や体罰禁止の経営方針説明	68	40%	4	33	19%	6
	体罰と懲戒、セクハラのラインの明確化(最新の情報をもとに)	142	83%	2	102	60%	2
体制	教職員研修等を実施し、教師への周知や指導力の向上	73	43%	3	82	48%	3
	教員の連携強化、共通理解と風通しのよい環境づくり	40	23%	5	63	37%	4
	校内巡視や授業の参観による状況把握	19	11%	9	24	14%	8
	児童生徒指導委員会や学年間での情報提供、問題の共有化	10	6%		16	9%	
	セクハラ・パワハラ対策委員会の設置	0	0%		0	0%	
指導	言葉の暴力、子供の叱り方についての指導	36	21%	7	48	28%	5
	指導が困難な児童生徒へ対する複数体制の指導や支援	7	4%		8	5%	
	教師と児童生徒の信頼関係を高める	19	11%	9	21	12%	10
	若年層教員への指導の強化	5	3%		3	2%	
	部活動における指導の周知徹底	2	1%		2	1%	
対応	報告を受けての事実確認及び対応	31	18%	8	31	18%	7
	全校集会等でいじめ、体罰、セクハラの講和	1	1%		1	1%	
	定期的なセルフチェック	38	22%	6	24	14%	8
	独自アンケートの実施やいじめアンケートとの併用	2	1%		4	2%	
相談	教育相談週間を設けるなど教育相談活動の充実	8	5%		10	6%	
	目標申告制度の活用	18	11%		13	8%	
	職員の悩み相談やメンタルヘルスの充実	7	4%		10	6%	
	相談や訴えのできる相談窓口の設置	14	8%		16	9%	
	セクハラ相談員を指名	1	1%		1	1%	
保護者	学校・保護者・地域の連携の強化	9	5%		11	6%	
	保護者との信頼関係を高める	5	3%		15	9%	
	学校評価アンケートによる保護者からの意見聴取	3	2%		11	6%	